

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 1サムエル記 30:8 ……御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 36番 あまつ御使いよ
- *交読文 …………… 20番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 172番 雨をふりそそぎ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:浪川執事 天声:小林伝道師
- 聖餐式 …………… 281番 しみもとがも
- メッセージ …………… 向きを変えて出発せよ(申命記 1:7-8)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 382番 約束の地を
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

『____は既に久しく、この山に留まっていたが、身をめぐらして道に進み…、行きなさい。見よ、わたしはこの地を____の前に置いた。この地に入って、それを自分のものとしなさい。これは主が、____の先祖アブラハム、イサク、ヤコブに誓って、彼らとその後の子孫に与えると言われた所である…。____は、____の神、主がお与えになる…山地に着いた。見よ、____の神、主はこの地を____の前に置かれた。____の先祖の神、主が告げられたように、上って行って、これを自分のものとしなさい。恐れてはならない。おののいてはならない…。』

彼らをこわがってはならない。また恐れてはならない。先に立って行かれる____の神、主は、____の目の前で、すべてのことを行われたように、____のために戦われるであろう。____はまた荒野で、____の神、主が、人のその子を抱くように、____を抱かれるのを見た。____が、この所に来るまで、その道すがら、いつもそうであった』。(申命記 1:6-8,20-21,29-31)

____は主に伺いをたてて言った、「____はこの軍隊のあとを追うべきですか。____はそれに追いつくことができますでしょうか」。主は____に言われた、「追いなさい。____は必ず追いついて、確かに救い出すことができるであろう」。(1サムエル記 30:8)

2月となった。今月のカレンダー聖句は、申命記 1:8 である。7節から見ると、『向きを変えて、出発せよ。そしてエモリ人の山地に行き…大河ユーフラテス川にまで行け。見よ。わたしはその地をあなた方の手に渡している。行け。その地を所有せよ。』申命記は、出エジプトした民が、荒野での40年の放浪を経て、いよいよ約束の地を目前とした時、死期を目前に迎えたモーセによる、最後の説教である。その説教の最初は、40年前、出エジプトしてホレブに滞在していた時の話から始まる。彼らは出エジプトして1年間、神の民としての契約と礼拝規定が定められ、礼拝所である幕屋も建設され、12部族の編成も終わり、いよいよ、約束の地へと出発する準備が整えられていた、まさにその時のモーセの言葉が、今回の御言葉である。

『向きを変えて、出発せよ』(7節)「向きを変える(パーナー)とは、準備する・移動するの意味で、「出発する(ナーサー)」は、「杭を抜く」ことから、テントの杭を抜いて旅を始める、移動する事を意味する。

主はその時、エモリ人の山地に行け、と、言われた。そこは、戦いに長けた強力な先住民がいたが、主は、「見よ、わたしはその地をあなた方の手に渡している」、それ故、「行け、所有せよ」と、言われた。(8節) 私達にも、約束の御言葉が、既に語られている。準備は出来ているだろうか。今まで留まっていたテントの杭を引っっこ抜いて、神様が約束された祝福の領域へと、移動を始める準備は。いよいよ、約束されていた素晴らしい地へ、足を踏み入れようとしている、希望に満ちた瞬間、のはずだった…。実際は40年の放浪のスタートだった。主が語られた場所から、約束の地まで、11日しかかからないと記されている(2節)のに、一体何が、「11日」を「40年」にさせたのか。それは、彼らの恐怖や、できない・無理と思わせる奴隷根性、そして、共におられる全能の神が、あたかも、いないかのように見積もる「不信仰」こそ、そうさせたのだ。

その過ちに陥った次第が、9節以降に記されている。9節以降、モーセが民の長となるべき人を選別した次第が記されているが、そのリーダー選別の基準を、彼のしゅと・イテロは、「有能な人で、神を恐れ、誠実で不義の利を憎む人」を選ぶようアドバイスした(出エジプト記 18:17-22)。しかしモーセが選別した人は、神を畏れる人でもなく、誠実な人でも、不正の利を憎む人でもなく、「知恵があり、人に知られている人々」だった(15節)。考えてほしい。「神を恐れない、けどできる人」「不義を憎まない、けどできる人」をリーダーに選んでしまったらどうなるか。結局彼らが、神の民を、信仰とは逆の方向へ「ミスリード」してしまったのだ。

私達は、教会や事業は、組織が大きくなって人が増えた時こそ、気をつけるべきである。初代教会は、人数が増えるにつれて、どのような人を上に立てたか。それは、御霊と知恵に満ちた、評判のよい人だった。私達が神の国の仕事を成し遂げるためには、量や力や効率より、霊的純粋さこそ保つべきであり、いたずらに人が増える事よりも、むしろ、信仰を邪魔するような余計な人は来ないように祈った方が良いのだ。

イスラエルの民があの時、モーセから言われた事に対し、口をつぐんで何も言わずに、その通り行っていたなら、すんなり約束の地に入れた、はずだった。しかし彼らは、提案してしまった。まずその地を探らせて、どう攻略すべきかを熟考しよう、と(22節)。事前調査するのは、悪い事ではない。ただ、その調査結果を、自前で判断するか、主で判断するかによって、天と地の差となる。モーセは、調査させるのは良いと思った。彼らは今まで、主の力強い御業を見てきたのだし、調査して、見て、どういう地か知ったなら、ぜひ行きましよう、と言うだろう、と、疑いもせずに思っていたのだ。しかし彼らの思考は、モーセと同じではなかった。彼らは、主が今までして下さった事も、主がおられる事も、度外視し、自分と相手だけ比べて絶望したのだ。主の言葉に、人の判断を混ぜてしまう事こそ、「11日」を「40年」に引き伸ばしてしまうコソであり、主が生きておられる事を度外視して、自分の凝り固まった考え方を通す思考こそ、霊的にも、社会的にも、いつまでも「底辺」から脱却できず、荒野を放浪する人生となってしまうのだ。それに引き換え、ヨシヤとカレブは、自分達の内におられる主と、相手とを見比べて、聖なる計算をしたので、絶対勝利する、と確信できた。

主は今月、向きを変えて出発せよ、わたしはその地をあなた方の手に渡している、行って、その地を所有せよ、という御言葉を与えて下さった。この言葉を信じて、ヨシヤやカレブのように、主を見つめ、今、目の前にある人・物・事と、主とを比較して、必ず主と共に勝利し、その地を獲得する、という確信と希望を得て、大胆に進み出て実体を勝ち得る皆さまでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第17巻6号

2022年2月6日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:00
食事・フェローシップ 13:00～
English Service 14:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:00～

金曜祈祷会

19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube